

フジコン

代表取締役社長 大島 右京



全員営業とオンライン化

2020年度は全社テーマに「全

員営業」をかかげ、営業以外の部署も当社のファンづくりと経費の最小化に取り組んできた。そのおかげもあり、苦しいなかでも20年度は黒字着地を見込んでいる。特に半導体製造装置や5G基地局向けが好調で、ロボット向けも中国市場が戻ってきた。電源関連も前年比プラスとなった。

ている。

コロナ禍の下、全社で「オンライン化」に取り組み、生産性向上につながっている。本社ではテレワークが定着し、商談もオンライン化している。新規取引に関わる工場監査や工場見学もオンラインで行い、販売代理店との戦略会議もオンライン化したことで今まで以上の参加人数で

礎を築くために、21年は新規受注の

継続的な獲得に力を入れていく。これまで良いお客様に恵まれてきたが、これからはそこに頼るだけではいけない。新規営業専門の組織とホームページのリニューアルによって新規受注の継続的な獲得を目指す。製品では瞬結端子台が好調で、20年はY端子と両端ねじ取付け対応の

2製品を発売した。今

年もラインアップを追加する予定だ。3Dプリンタを使った端子台

実施でき、社内外からの反応も上々だ。また電子決裁を導入し、稟議や各種申請など回覧・押印が必要な書類もオンライン決裁にして大幅な時間節約ができ、オンラインの効果を実感した。

試作サービスも新たな3Dプリンタを追加導入した。カスタム受注やロット生産など広げていきたい。また昨年は、社員の健康管理に対して「健康経営優良法人」の認定を受けることができた。次は上位50

2021年は創業55周年の記念の年であり、100年企業に向けて大きな一歩となる1年にしたい。その

0社が選ばれる「健康経営優良法人プライト500」を自指したい。